

令和3年度 事業計画 (案)

| | |
|------|-------------------------------|
| 基本目標 | 企業一体となった 安全活動を推進して 地域社会に貢献しよう |
|------|-------------------------------|

| | | | | |
|-------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------|
| 業務重点 | 1 組織をあげた安全運転管理の推進 | 2 マイカー事故防止対策の推進 | 3 交通安全意識の共有と歩行者保護運転の徹底 | 4 地域と連携した交通安全活動の推進 |
| | (1) 組織的な安全運転管理の推進 | (1) マイカーの掌握と指導の徹底 | (1) 交通安全意識の共有 | (1) 各季の交通安全運動 |
| | ア 安全運転管理体制の充実強化 | ア 免許証、保険加入状況等の確認 | ア ドライバー自身の安全意識の重要性の理解 | ア 春の全国交通安全運動 4/6-15(10日間) |
| | イ 安全運転管理計画の策定による組織的活動の推進 | イ 通勤経路マップの作成と指導 | イ 安全運転を継続することの価値の承認 | イ 夏の交通安全県民運動 7/11-20(10日間) |
| | ウ 安全教育の充実による交通安全意識の浸透 | (2) ドライバークラブの結成と活動の強化 | ウ 「車が人を守る」交通安全意識の共有 | ウ 秋の全国交通安全運動 9/21-30(10日間) |
| | エ 表彰制度の活用による安全運転意識の高揚 | ア 自主的な活動計画の作成と実行 | エ 交差点の通行方法の周知 | エ 年末の交通安全県民運動 12/1-10(10日間) |
| | オ 外国人従業員向け交通安全教室の開催 | イ 表彰による交通安全意識の高揚 | (2) 歩行者保護運転の徹底 | (2) 交通安全の日 |
| | (2) 安全運転管理者等に対する安全運転管理能力向上対策の推進 | ウ 自転車通勤者のグループ化と指導 | ア 横断歩行者等の手前で確実に停止 | ア 交通事故ゼロの日 |
| | ア 法定講習の全員受講による安全運転管理能力の向上 | (3) 被害軽減対策の推進 | イ 横断歩行者等の早期発見 | イ 高齢者を交通事故から守る日・週間 |
| | イ 資料の提供による事故実態に応じた指導の促進 | ア 全席シートベルト、チャイルドシートの着用 | ウ 住宅街における歩行者等への注意 | ウ 自転車・二輪車の安全利用 |
| | ウ 運転適性検査指導者講習の受講による管理能力の向上 | イ 二輪車運転者のヘルメット等の着用 | エ 高齢歩行者等を守る思いやり運転の励行 | (3) 各種交通安全運動の推進 |
| | (3) 安全運転管理者未選任事業所の発見、選任及び入会の勧奨 | ウ 自転車利用者のヘルメット着用 | | ア 交通安全スリーS運動(ストップ・スロー・スマート) |
| | ア 安全運転管理者未選任事業所の発見による未選任事業所の一掃 | (4) 飲酒運転等根絶対策の推進 | | イ ライト・オン運動(夕暮れ時の前照灯早め点灯運動) |
| | イ 安全運転管理協議会への入会勧奨による組織基盤の強化 | ア 飲酒運転の根絶に向けた規範意識の確立 | | ウ 歩行者保護運動(横断歩道の日、ハンドアップ運動) |
| | (4) 安全運転管理モデル事業所活動の推進 | イ 飲酒運転を助長する環境の根絶 | | エ 全席シートベルト・チャイルドシート着用徹底運動 |
| | ア 「安全運転管理モデル事業所」の委嘱による活動成果の普及 | (5) 自転車安全利用の促進 | | オ 飲酒運転の根絶 |
| | イ モデル事業所活動の紹介と表彰 | ア 自転車安全利用五則の周知実践 | | カ 「ながらスマホ」や「あおり運転」の根絶 |
| | ウ 推進事業(事業計画のとおり) | イ 反射材用品の着用促進 | | (4) 街頭活動等の推進 |
| | エ 安全運転管理モデル事業所活動の実施要領(HPのとおり) | ウ 損害賠償保険への加入促進 | | ア 地域や警察署等関係機関・団体との連携 |
| | (5) 交通安全教育の強化 | | | イ 立哨場所の設定と通学保護への配慮 |
| | ア 新入社員等に対する運転マナーの確立 | | | ウ 地域住民との交流会の開催 |
| | イ 「ながらスマホ」や「あおり運転」の根絶 | | | |
| | ウ 歩行者保護の徹底 | | | |
| | エ 運転適性検査の実施と活用 | | | |
| | オ 「エコ&セーフティ100日間無事故・無違反運動」への参加 | | | |
| | カ 高速道路における安全走行の徹底 | | | |
| | (6) 高齢ドライバーの事故防止対策の推進 | | | |
| | ア 身体機能変化の理解 | | | |
| | イ 安全運転サポート車の普及啓発 | | | |
| | ウ 頻回事故歴高齢者対策 | | | |
| (7) 夕暮れ時及び夜間対策の推進 | | | | |
| ア ライト・オン運動の推進 | | | | |
| イ ハイビーム活用運動の推進 | | | | |

| 一般業務 | 法定講習 |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 会議等 | 1 実施期間及び回数 |
| 2 機関誌「AAKK」の編集発行 | (1) 安全運転管理者講習 43回(12回) |
| 3 「(アイ)ネット」による交通情報の提供とネットワークの確立 | (2) 副安全運転管理者講習 13回(3回) |
| 4 警察、県、市町村及び関係機関・団体との連携強化 | ※()はオンライン講習回数を示す。 |
| 5 交通安全教育用DVDの貸出 | 2 講習受講率の向上 |
| 6 運転適性検査指導者講習会の開催 | 受講率の向上による交通安全教育基盤の充実 |
| 7 エコ&セーフティ100日間無事故・無違反運動の実施 | 3 講習内容の充実 |
| 8 調査研究 | 講習テキスト内容の充実、講義内容の質的充実 |
| 9 表彰 | 4 講習時間割 |
| | (1) 安全運転管理者 10:00 - 17:00 |
| | (2) 副安全運転管理者 13:00 - 17:00 |
| | 5 講師 |
| | 弁護士、大学教授等 |